

高知県感染症発生動向調査（月報）

2025年3月

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

第10週(3月3日～)から第13週(～3月30日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は78.57で2月の82.63と比べて横ばいだった。

新型コロナウイルス感染症について、全国と高知県の定点報告数を図1に示す。12月に増加に転じたが大きな流行にはならなかった。

1位は感染性胃腸炎で39.47（2月1位35.24）と増加した。2位は新型コロナウイルス感染症で14.07（同2位20.34）と減少した。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で8.51（同4位8.95）と横ばいだった。4位はインフルエンザで8.08（同3位10.51）と減少した。5位はRSウイルス感染症で5.09（同5位4.50）と増加した。6位は流行性角結膜炎で3.35（同6位3.09）と横ばいだった。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	10週	11週	12週	13週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎	11.38	11.10	9.04	7.95	39.47
2	新型コロナウイルス感染症	4.07	3.85	3.23	2.92	14.07
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.33	2.33	1.96	1.89	8.51
4	イ ン フ ル エ ン ザ	2.02	2.23	1.98	1.85	8.08
5	RS ウ イ ル ス 感 染 症	1.41	1.48	1.18	1.02	5.09
6	流 行 性 角 結 膜 炎	0.83	0.89	0.83	0.80	3.35

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

上位6疾患の県内における報告数の合計は61.75で2月の67.18と比べて横ばいで、全国よりも少なかった（表2）。減少の原因は新型コロナウイルス感染症の減少に因るところが大きい。1月の上位6疾患は次のとおりである。

1位は感染性胃腸炎で29.20（2月2位19.64）と増加したが全国よりも少なかった。2位は新型コロナウイルス感染症で13.32（同1位21.37）と減少し全国と同等だった。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で9.84（同4位9.52）と横ばいで全国よりも多かった。4位はRSウイルス感染症で5.12（同7位2.12）と増加し全国と同等だった。5位は伝染性紅斑で2.28（同5位3.32）と減少し全国よりも少なかった。6位は流行性角結膜炎で1.99（同8位1.00）と増加したが全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	10週	11週	12週	13週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎	8.76	8.36	6.92	5.16	29.20
2	新型コロナウイルス感染症	3.86	3.39	2.75	3.32	13.32
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.76	2.56	1.84	2.68	9.84
4	RS ウ イ ル ス 感 染 症	1.16	1.28	1.36	1.32	5.12
5	伝 染 性 紅 斑	0.56	0.92	0.32	0.48	2.28
6	流 行 性 角 結 膜 炎	0.33	1.33	0.33	0.00	1.99

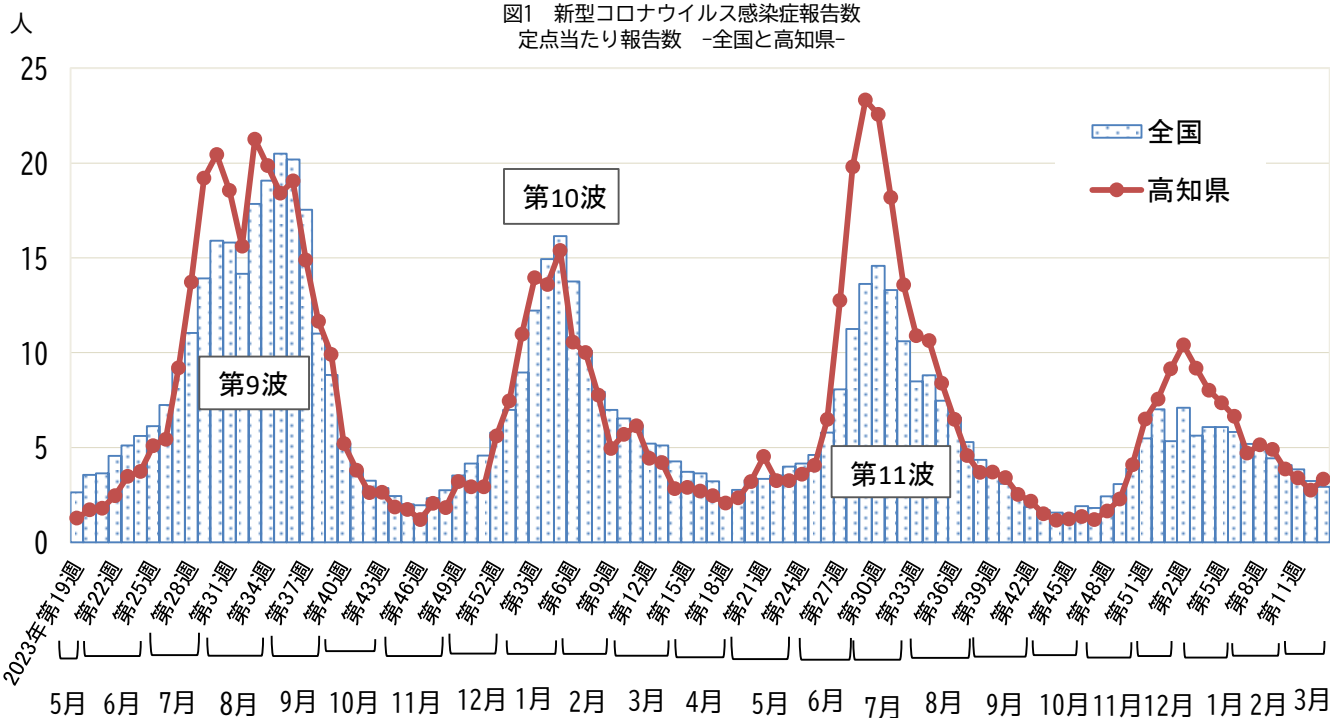


表3 高知県で検出された新型コロナウイルスの変異株

年 月	オミクロン株																		計
	BA. 2	KP. 1	KP. 2	KP. 3	JN	MC	BN. 1	FK. 1	XBB	XBC	XDQ	CK. 1	XEC	XEC. 2	XEC. 4	XEC. 5	XEC. 8	XEK	
2023 5							1		2										3
6									3										3
7									7			1							8
8								6	32										38
9								5	25	3									33
10	1								9										10
11	6								2										8
12	12				1				1										14
2024 1	25				2				9										36
2	37								4										41
3	11				1				1										13
4	2										6								8
5				3							5								8
6				10	1														11
7			2	52	1														55
8				48															48
9				10		1													11
10		1		9		1													11
11				1															1
12														1					1
2025 1				5		1							3	7	1	1		1	19
2				1		2							2	4	3		1		13
3																			0

2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。

全国と同様に、2月から県下で百日咳の発生届が増加し、第13週（3月30日）までに82件に上った。2020年33件、21年3件、22年9件、23年7件、24年5件と新型コロナ流行中は減少していたが、本年は大きな流行となりそうである。

3月に高知市在住の1か月未満児（無呼吸・チアノーゼ）の届け出があり、本児からマクロライド耐性百日咳菌が検出された。この分離株は、本県で分離培養された、最初のマクロライド耐性百日咳菌である。

全国各地でマクロライド系抗菌薬耐性の百日咳の報告が相次ぎ、重症例も報告されている。

・大坂府の3例<https://www.niid.go.jp/niid/ja/pertussis-m/pertussis-iasrd/13154-540d02.html>

- ・ 沖縄県の2例<https://www.niid.go.jp/niid/ja/pertussis-m/pertussis-iasrd/13152-540d01.html>
- ・ 鳥取県では8株/9株（89%）がML耐性であった<https://www.niid.go.jp/niid/ja/pertussis-m/pertussis-iasrd/13155-540d03.html>

2024年12月に「新生児におけるエコーウイルス11型（E-11）感染症の発生について（注意喚起及び情報提供依頼）、厚生労働省から日本医師会に対して通達した（<https://www.mhlw.go.jp/content/001345108.pdf>）。さらに、本年2月6日には、E-11感染症の実態把握を目的に、厚労省は都道府県・保健所設置市に対して、積極的疫学調査の協力依頼を発出した（<https://www.mhlw.go.jp/content/001345107.pdf>）。対象は重症感染症を呈した3か月以下の乳児で、臨床検体すなわち①呼吸器由来検体（咽頭ぬぐい液等）、②消化器由来検体（ふん便や直腸ぬぐい液）、③血清、（④髄液）を衛生環境研究所に送付することとなっている。

2024年に高知県ではE-11が5件検出されており、重篤となりやすい新生児感染例に注意する必要がある。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 78名（2月 476名）。2023/24シーズンは3つのウイルス株（AH1pdm09、AH3NT、B/Victoria）が相次いで流行したので流行が長期間続き、報告数は過去10年間で最多だった。

2024/25シーズンは、12月に著増し、同時期としては過去10年間で2023年に次いで2番目に多い報告数だった。1月はさらに増加したが、第2週をピークに減少した。今季の特徴は、短期間での爆発的流行であったといえる。

県下全域から報告があり、高知市、中央東、須崎、安芸、中央西、幡多の順に多かった。ウイルスはA型H1pdm09が1月15件、2月に2件検出され、主たる流行株となっている。ほかには、1月以降にAH3NTが6件、2月以降にB/Victoriaが4件検出されている。

2) 新型コロナウイルス感染症

報告数 586名（2月 940名）。図1に2023年5月以降の県下定点報告数を示す。年末年始に患者数が増加することが恒例だったが、今季は大きな流行とはならなかった。

県下全域から報告があり、須崎、中央西、高知市、中央東、幡多、安芸の順に多かった。県下で採取されたウイルス株の解析結果を表3に示す。2023年10月以降はすべてオミクロン株のBA.2系統群に分類されるウイルスである。2025年1月～2月の2カ月間で、新たに登場したXEC系統のXEC.2が11件、XEC.5が5件、XEC.4が4件、XEC.8、XEC.1が各1件検出され、BA.2系統群のBA.2.86系統に分類されるKP.3.亜系統が6件、MC.1亜系統が3件検出された。

3) 咽頭結膜熱

報告数 20名（2月 17名）。2023年10月～2024年3月は、同時期として過去10年間で最大の報告数が続いたが、5月以降は平年ペースに落ち着いている。須崎、中央西、高知市、幡多から報告された。Adenovirus 5が1件検出された。

4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 246名（2月 238名）。2023年10月以降は、多い報告数が続き、2024年は過去10年間で最多だった。2025年1月以降は平年並みに落ち着いている。安芸以外から報告があり、中央西、幡多、須崎、高知市、中央東の順に多かった。*Streptococcus pyogenes* T1が2件検出された。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症が多発しており、2024年は第52週（12月29日）までに全国から計1,888名が報告され、最多を更新し、高知県でも7名が報告された。2025年は第11週までに全国で390人、高知県で1人報告されており、報告のペースは少し鈍ってきた。

5) 感染性胃腸炎

報告数 730名（2月 491名）。新型コロナウイルス感染症流行が始まった2020年以降は少ない数で推移していた。2025年は3月に増加がみられ、同月としては過去10年間で2016年に次いで2番目に多かった。県下全域から報告があり、幡多、高知市、安芸がとくに多かった。Norovirus GII NTが7件、Astrovirus NTとSapovirus genogroup unknownが各1件検出された。

6) 水痘

報告数 10名（2月 7名）。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移しているがゼロにはならない。高知市から7名、中央西から3名が報告された。

7) 手足口病

報告数 3名 (2月 5名)。2024年は4月に流行が始まり、6月と10月にピークをつくり二峰性流行（流行株はCoxsackievirus A16、同A6と同A10の3種類）となり、過去10年間で最大流行規模だったが、2025年2月になって収束した。3月は高知市から3名が報告された。

8) 伝染性紅斑

報告数 57名 (2月 83名)。2024年10月以降に増加し、1月以降は連続して過去10年間で同時期として最多だった。Human parvovirus B19が貧血素因のある者に感染すると重症貧血を起こし (aplastic crisis)、妊婦に感染すると胎児水腫と流産の原因となる点が臨床的に重要である。高知市、幡多、須崎、中央東から表記の順に多く報告された。伝染紅斑と診断された者とその他の診断の者からhuman parvovirus B19が各2件ずつ検出された。

9) 突発性発疹

報告数 21名 (2月 19名)。想定内の推移である。

10) ヘルパンギーナ

報告数 0名 (2月 0名)。2022年は過去10年間で最小、翌2023年は最大の流行であった。2024年は5月から流行が始まり6月をピークとする標準的な規模であり、原因ウイルスは不明だった。12月に流行は収束した。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 0名 (2月 2名)。2020年5月以降は一桁の報告数で推移している。

12) RSウイルス感染症

報告数 128名 (2月 53名)。2021年は過去10年で最大の流行だったが、2024年は2021年、2017年に次ぐ3番目の流行だった。2021年から4年連続で夏に流行した。2024年は4月から流行が始まり、8月をピークにして収束し、翌1月に増加に転じた。3月は同時期として過去10年間では2019年に並び最多の報告数だった。県下全域から複数の報告があり、とくに多かったのは高知市、中央東、幡多である。類似のウイルスであるヒトメタニューモウイルスも県下で流行している。2025年3月、RSウイルスは検出されていない。

RSウイルス感染症は小児期に皆が罹る気道感染症の中では最も重症である。須崎市では、この疾患を予防するモノクローナル抗体（ニルセビマブ）の保険適応外使用、すなわち基礎疾患のない乳児に対する使用を公費負担で行うことを決め、6月から投与が開始される。これは日本で初めての試みだが、同様の施策が他の自治体にも拡大することが期待される。

13) 流行性角結膜炎

報告数 6名 (2月 3名)。2019年以降は一桁の報告数で推移している。

14) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 1名 (2月 0名)。本年の1例目として、中央東で70歳以上の高齢者例が報告された。2017年以降は年間一桁の報告数で推移していたが、2024年は11名に達した。

15) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 1名 (2月 2名)。従来は年間20～30名台の報告数で推移していたが、2017年以降は1～9名/年で推移している2月に小児2名の報告があったが病原体は検出されていない。

16) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 14名 (2月 20名)。2024年は過去10年間で最大の流行となったが、11月以降は減少に転じている。幡多、高知市から報告された。流行細菌株のマクロライド感受性については確定していないが、臨床現場ではマクロライド系抗菌薬が効きにくい印象がある。

基幹定点の月報疾患

17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 26名 (2月 31名)。中央東、高知市、安芸＝幡多から表記の順に多く報告された。

18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (2月 1名)。2015年以降は、年間0～2名の報告にとどまっており、2024年は2名だった。

【参考】

全数報告

年別全数報告数（令和7年3月）

類型	病名	報告年															
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
2	結核	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	15
	計	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	15
3	コレラ	1															
	細菌性赤痢							2									
	腸管出血性大腸菌感染症	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	2
	腸チフス						1				1						
	パラチフス																
	計	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	2
4	A型肝炎	3					3	1			2					1	1
	E型肝炎	1		1							2	1		1			
	オウム病								1								
	Q熱																
	サル痘														1		
	重症熱性血小板減少症候群				3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	10	
	つつが虫病	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	3	
	デング熱	1			3	2	1				2						
	日本紅斑熱	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	9	
	日本脳炎	1															
	マラリア		1								1				1	1	
	レジオネラ症	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	8	2
	レプトスピラ症		4	2	1				1						1		
	計	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	32	3
5	アメーバ赤痢	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	1	
	ウイルス性肝炎	3		3		1			2	1	1	2	2	2	1		2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	1
	急性弛緩性麻痺									1	2				1	2	
	急性脳炎	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	2			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3				2			2	1	1	3		1	1		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	3		1		3	5	6	2	2	5	4	1	6	1
	後天性免疫不全症候群	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	4	
	ジアルジア症		1	1						1							
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	9	2
	侵襲性肺炎球菌感染症				1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	18	6
	水痘（入院例に限る）						2	1	1	3		3	3	3	1		2
	髄膜炎菌性髄膜炎																
	梅毒	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	40	13
	播種性クリプトコックス症							1	3	5				4	3	1	
	破傷風	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	1	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1		1	1							
	百日咳									173	172	35	3	9	7	4	71
	風しん			4	9	1				3							
	麻しん																
	計	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	109	97	98
動物	鳥インフルエンザ		1														
	計		1														
総計		201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	214	221	221	216	196	118

類型	病名	報告月			総計
		1月	2月	3月	
2	結核	4	4	7	15
3	腸管出血性大腸菌感染症		1	1	2
4	A型肝炎			1	1
	レジオネラ症	1		1	2
5	ウイルス性肝炎		1	1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1		1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		2	6
	水痘（入院例に限る）	1		1	2
	梅毒	4	7	2	13
	百日咳	1	8	62	71
総計		15	24	79	118

高知県感染症情報 月報（61定点医療機関）

2025年

3月

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・COVID-19	インフルエンザ	6	21	36	4	7	4	78	476	3,141
	新型コロナウイルス感染症	25	127	186	70	79	99	586	940	900
小児科	咽頭結膜熱			10	3	5	2	20	17	36
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		34	96	40	24	52	246	238	435
	感染性胃腸炎	64	86	296	50	52	182	730	491	359
	水痘			7	3			10	7	15
	手足口病			3				3	5	7
	伝染性紅斑		4	43		3	7	57	83	4
	突発性発疹	1	3	14		1	2	21	19	23
	ヘルパンギーナ									14
	流行性耳下腺炎								2	2
	RSウイルス感染症	4	33	66	4	4	17	128	53	2
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			6				6	3	5
STD	性器クラミジア感染症			8				8	9	5
	性器ヘルペスウイルス感染症			2				2	1	1
	尖圭コンジローマ								2	2
	淋菌感染症			1				1		3
基幹	細菌性髄膜炎		1					1		3
	無菌性髄膜炎			1				1	2	1
	マイコプラズマ肺炎			7			7	14	20	2
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）		1	1				2	2	2
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	6	18			1	26	31	35
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								1	
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		101	316	801	174	175	373	1,940	2,402	4,997
前月		144	407	852	257	217	525			
前年同月		165	947	1,648	402	412	1,423			
小児科定点数		2	6	9	2	2	5			

高知県感染症情報 月報（61定点医療機関）

2025年

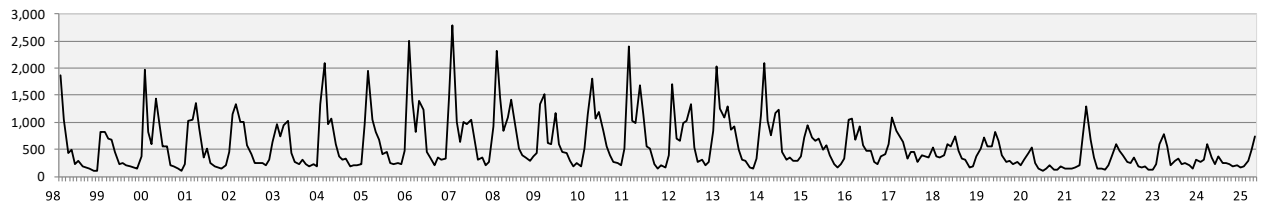
3月

定点当たりの人数

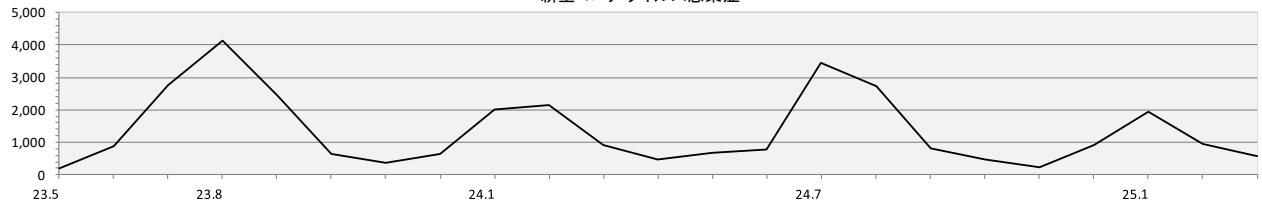
定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・COVID-19	インフルエンザ		1.50	2.10	2.57	1.00	1.75	0.51	1.77	10.82	71.38
	新型コロナウイルス感染症		6.25	12.70	13.28	17.50	19.75	12.38	13.32	21.37	20.45
小児科	咽頭結膜熱				1.10	1.50	2.50	0.50	0.80	0.68	1.39
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			5.66	10.66	20.00	12.00	13.00	9.84	9.52	16.89
	感染性胃腸炎		32.00	14.33	32.89	25.00	26.00	45.50	29.20	19.64	13.91
	水痘				0.77	1.50			0.40	0.28	0.58
	手足口病				0.33				0.12	0.20	0.28
	伝染性紅斑			0.66	4.78		1.50	1.75	2.28	3.32	0.16
	突発性発疹		0.50	0.51	1.54		0.50	0.50	0.84	0.76	0.89
	ヘルパンギーナ										0.55
	流行性耳下腺炎									0.08	0.08
	RSウイルス感染症		2.00	5.50	7.33	2.00	2.00	4.25	5.12	2.12	0.08
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎				6.00				1.99	1.00	1.67
STD	性器クラミジア感染症				4.00				1.33	1.50	0.83
	性器ヘルペスウイルス感染症				1.00				0.33	0.17	0.17
	尖圭コンジローマ									0.33	0.33
	淋菌感染症				0.50				0.17		0.50
基幹	細菌性髄膜炎			1.00					0.13		0.39
	無菌性髄膜炎				0.20				0.13	0.26	0.13
	マイコプラズマ肺炎				1.40			7.00	1.76	2.51	0.26
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）										
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）			1.00	0.20				0.25	0.25	0.26
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1.00	6.00	3.60			1.00	3.25	3.88	4.38
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									0.13	
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
小児科定点分計			42.25	41.46	75.25	68.50	66.00	78.39	63.69	68.79	126.64
前月			51.75	46.66	73.88	83.25	72.00	87.65			
前年同月			45.25	103.28	130.35	114.00	132.25	191.88			

注目される疾患の月別推移

感染性胃腸炎



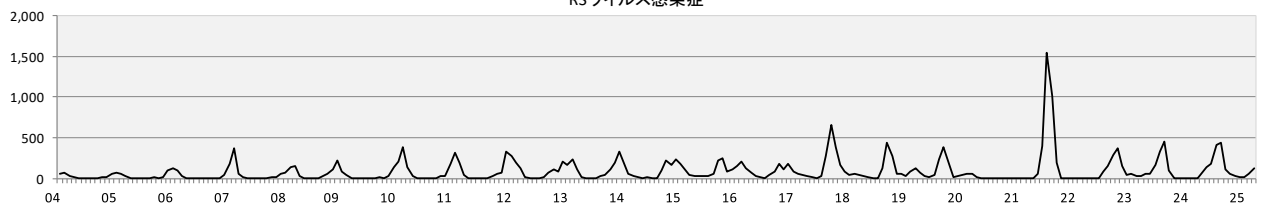
新型コロナウイルス感染症



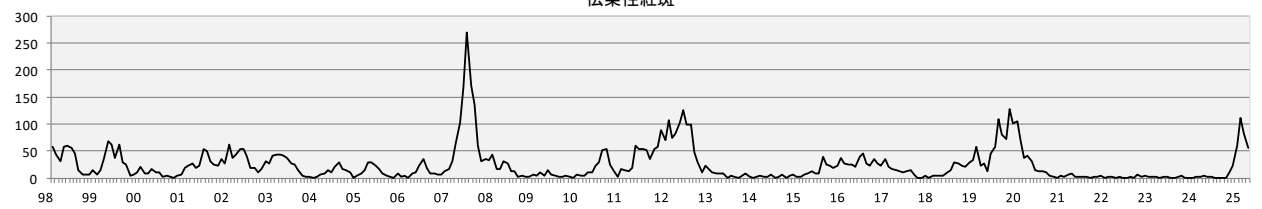
A群溶血性レンサ球菌感染症



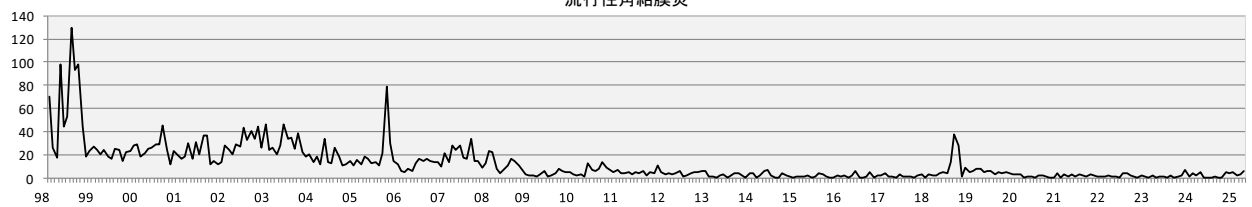
RSウイルス感染症



伝染性紅斑



流行性角結膜炎



高知県感染症情報（月報）

2025年3月

検査情報

ウイルス，細菌の分離状況

令和7年3月はウイルス45件、細菌4件の搬入があり、そのうち ウイルス26件、細菌2件の病原体を検出し、令和7年2月に搬入された検体でウイルス27件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 2 1件、Adenovirus 5 1件、Astrovirus NT 1件、Cytomegalovirus 1 件、Epstein-Barr virus 3件、Human herpes virus 6 2件、Human metapneumovirus 2件、human parvovirus B19 4件、Influenza virus A H3 NT 2件、Influenza virus B/Victoria 3件、Norovirus GII NT 9件、Rhinovirus 1件、Rotavirus group A G8 1件、Sapovirus genogroup unknown 1件、SARS-CoV-2 21件、細菌の内訳は*Streptococcus pyogenes* T1 2件であった。

ウイルス，細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	98	女	新型コロナウイルス感染症	—	鼻咽頭ぬぐい液	1/28	SARS-CoV-2(解析不能)
2	12	男	新型コロナウイルス感染症	38℃, 嘔吐,	ぬぐい液	1/30	SARS-CoV-2(解析不能)
3	6	男	新型コロナウイルス感染症	38℃, 上気道炎,	鼻咽頭ぬぐい液	1/30	SARS-CoV-2
4	83	男	新型コロナウイルス感染症	咳嗽, 肺炎,	唾液	1/30	SARS-CoV-2
5	67	女	新型コロナウイルス感染症	38℃,	唾液	1/31	SARS-CoV-2
6	2	男	新型コロナウイルス感染症	38℃, 咳嗽,	ぬぐい液	2/3	SARS-CoV-2
7	13	男	新型コロナウイルス感染症	40℃, 咳嗽,	唾液	2/3	SARS-CoV-2
8	9	男	新型コロナウイルス感染症	39℃, 上気道炎,	鼻咽頭ぬぐい液	2/3	SARS-CoV-2
9	7	男	新型コロナウイルス感染症	40℃, 咳嗽,	唾液	2/4	SARS-CoV-2
10	46	女	新型コロナウイルス感染症	上気道炎,	鼻咽頭ぬぐい液	2/10	SARS-CoV-2
11	89	男	新型コロナウイルス感染症	咳嗽,	唾液	2/10	SARS-CoV-2
12	89	男	新型コロナウイルス感染症	38℃, 咳嗽,	喀痰	2/10	SARS-CoV-2
13	4	女	—	40℃, 咳嗽, 上気道炎, 気管支炎,	ぬぐい液	2/13	Human metapneumovirus
14	8	女	インフルエンザ	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	2/14	Influenza virus B/Victoria
15	72	男	新型コロナウイルス感染症	39℃,	喀痰	2/17	SARS-CoV-2
16	7か月	男	新型コロナウイルス感染症	39℃,	ぬぐい液	2/18	SARS-CoV-2
17	2	女	感染性胃腸炎	39℃, 嘔吐,	ふん便	2/18	Norovirus GII NT
18	89	女	新型コロナウイルス感染症	38℃, 咳嗽,	唾液	2/18	SARS-CoV-2
19	1	男	新型コロナウイルス感染症	39℃, 嘔吐,	ぬぐい液	2/19	SARS-CoV-2
20	7	男	新型コロナウイルス感染症	38℃,	ぬぐい液	2/21	SARS-CoV-2(解析不能)
21	13	男	新型コロナウイルス感染症	39℃, 咳嗽,	ぬぐい液	2/22	SARS-CoV-2(解析不能)
22	7	男	新型コロナウイルス感染症	39℃,	ぬぐい液	2/22	SARS-CoV-2(解析不能)
23	1	女	新型コロナウイルス感染症	38℃,	ぬぐい液	2/22	SARS-CoV-2
24	9	男	新型コロナウイルス感染症	40℃, 上気道炎,	唾液	2/25	SARS-CoV-2
25	6	女	インフルエンザ	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	2/25	Influenza virus A H3 NT
26	1	女	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	2/25	Adenovirus 2
27	1	女	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	2/25	Rotavirus group A G8
28	1	女	インフルエンザ	40℃, 上気道炎, 発疹, 結膜炎,	ぬぐい液	2/25	Epstein-Barr virus
29	5	女	咽頭結膜熱	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	3/4	Adenovirus 5
30	5	女	インフルエンザ	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	3/5	Influenza virus A H3 NT
31	1	女	感染性胃腸炎	37℃, 下痢, 嘔吐,	ふん便	3/5	Norovirus GII NT
32	7	男	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	3/6	Norovirus GII NT
33	2	男	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	3/6	Sapovirus genogroup unknown
34	8	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃,	ぬぐい液	3/6	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1
35	2	女	急性咽頭炎	40℃, 下痢, 嘔吐, 発疹,	ぬぐい液	3/6	Rhinovirus
36	2	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃, 発疹,	ぬぐい液	3/7	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1
37	1	男	感染性胃腸炎	嘔吐,	ふん便	3/7	Norovirus GII NT
38	1	女	感染性胃腸炎	下痢,	ふん便	3/7	Astrovirus NT
39	3	男	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	3/8	human parvovirus B19 Epstein-Barr virus Human herpes virus 6
40	9	女	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	3/10	human parvovirus B19
41	8	女	伝染性紅斑	咳嗽,	ぬぐい液	3/10	Human metapneumovirus
42	6	男	感染性胃腸炎	38℃, 下痢, 嘔吐,	ふん便	3/10	Norovirus GII NT
43	1	男	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	3/10	Norovirus GII NT
44	10	男	ギランバレー症候群疑い	—	ふん便	3/10	Norovirus GII NT
45	1	女	不明発疹症	39℃, 発疹,	ぬぐい液	3/12	Cytomegalovirus
46	4	男	伝染性紅斑	—	ぬぐい液	3/13	human parvovirus B19
47	8	男	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	3/15	Norovirus GII NT

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
48	2	男	不明発疹症	39℃, 発疹,	ぬぐい液	3/21	human parvovirus B19 Epstein-Barr virus Human herpes virus 6
49	5	男	感染性胃腸炎	嘔吐,	ふん便	3/22	Norovirus GII NT
50	8	女	インフルエンザ	38℃, 関節痛,	ぬぐい液	3/24	Influenza virus B/Victoria
51	7	男	インフルエンザ	39℃, 咳嗽,	ぬぐい液	3/24	Influenza virus B/Victoria

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2024年												2024年 総計	2025年			2025 年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計	1月	2月	3月	年総計
A群溶血性レンサ球菌咽頭	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1			1		3	1						1	6			2	2
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264				1									1				
	<i>Streptococcus pyogenes</i> Untypable		1	1										2				
	計		1	2	1	3	1						1	9			2	
RSウイルス感染症	Respiratory syncytial virus												1	1				
	計												1	1				
咽頭結膜熱	Adenovirus 2					1						1		2				
	Adenovirus 5																1	1
	Echovirus 11											1		1				
	Rhinovirus											1		1		1		1
	計					1						3		4		1	1	1
インフルエンザ	Adenovirus 1							1						1				
	Coxsackievirus A6							1						1				
	Epstein-Barr virus																1	1
	Influenza virus A H1pdm09	1									2	6	31	40	15	2		17
	Influenza virus A NT												1	1	1			1
	Influenza virus A H3 NT	3	1							3				7	3	2	1	6
	Influenza virus B/Victoria	3	3	3	7									16		2	2	4
	Parainfluenza virus 3			1										1				
	SARS-CoV-2	1	1											2				
	計	8	6	3	7		1	1		3	2	6	32	69	19	6	4	29
感染性胃腸炎	Adenovirus 2															1		1
	Astrovirus NT												1	1			1	1
	Echovirus 11							1		2				3				
	Norovirus GI NT	1	2	1										4				
	Norovirus GII NT	4		2		2	1			2				11		2	7	9
	Rhinovirus							1						1				
	Rotavirus group A G2			1										1				
	Rotavirus group A G8															1		1
	Sapovirus genogroup unknown		1											1			1	1
	計	5	3	4		2	1	2		4			1	22		4	9	13
新型コロナウイルス感染症	SARS-CoV-2	42	45	25	9	9	9	66	16	25	14	5		265	22	21		43
	計	42	45	25	9	9	9	66	16	25	14	5		265	22	21		43
水痘	Varicella-zoster virus														1			1
	計														1			1
手足口病	Adenovirus 1								1					1				
	Adenovirus 2							1			3			4				
	Adenovirus 5				1									1				
	Coxsackievirus A6				6	8	8	6				1		29				
	Coxsackievirus A10								2	2				4				
	Coxsackievirus A16								9	9	10	10	2	40				
	Coxsackievirus B3												1	1				
	Cytomegalovirus		1		1	1	2	1		4	1			11				
	Echovirus 3								1					1				
	EnterovirusD68									1	1			2				
	Enterovirus71		1								2	1		4	1	1		2
	Epstein-Barr virus					2	3	2		2	4		1	14	1			1
	Human herpes virus 6			1	2	1	3			2	1		2	12		1		1
	Human herpes virus 7			1	1	3	2	1		4	8	4	1	25				
	human parvovirus B19					1		1		1	2	1	1	7				
	Rhinovirus								1	8	12	12	4	37		1		1
	RhinovirusA10								1					1				
	RhinovirusA20									1				1				
	RhinovirusA58								3	2	1			6				
	RhinovirusC										5			5				
	RhinovirusC2					2	1							3				
	RhinovirusC42				1									1				
	計		2		11	17	18	16	19	36	50	29	12	210	2	3		5

臨床診断名	病原微生物	2024年												2024年 総計	2025年			2025 年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	
伝染性紅斑	Coxsackievirus A16												1	1				
	Epstein-Barr virus																	
	Human herpes virus 6															1		1
	Human herpes virus 7												1	1		1		1
	Human metapneumovirus																1	1
	human parvovirus B19															1	2	3
	Rhinovirus	1												1				
	計	1											2	3		3	3	3
突発性発疹	Coxsackievirus A16											1	1	1				
	Echovirus 11											1	1	1				
	Human herpes virus 6														1	1		2
	Rhinovirus											1	1	1				
	計											3	3	3	1	1		2
ヘルパンギーナ	Herpes simplex virus 1					1								1				
						1								1				
無菌性髄膜炎	Human herpes virus 6		1											1				
	Norovirus GII NT		1											1				
			2											2				
その他	Adenovirus 2						1	2				1	4	4		1		1
	Adenovirus 41									1			1	1				
	Coxsackievirus A6					2	1						3	3				
	Coxsackievirus A10								1				1	1				
	Coxsackievirus A16												1	1				
	Cytomegalovirus			1	1			1					3	3		1	1	2
	Echovirus 11										1		1	1				
	Echovirus 18															1		1
	Enterovirus71	1											1	2				
	Epstein-Barr virus	1	1	1	3	4					1		11	11			2	2
	Human herpes virus 6			2	1	3		1		1	1		1	10		1	2	3
	Human herpes virus 7		1		2				1	1			2	7				
	Human metapneumovirus			2										2		2		2
	human parvovirus B19				2							1	3	3	1		2	3
	Influenza virus A H1pdm09												1	1				
	Influenza virus B/Victoria				1									1				
	Norovirus GII NT				1									1		1	1	2
	Parainfluenza virus 1				1									1				
	Parainfluenza virus 3					3								3				
	Respiratory syncytial virus A									1				1				
	Respiratory syncytial virus B														1			1
	Rhinovirus			1		3	2	3	1	1	1	1	3	16	1	2	1	4
	RhinovirusA10								1					1				
	RhinovirusA38									1				1				
	RhinovirusA58									1				1				
	RhinovirusA78							1						1				
	<i>Escherichia coli</i> OUT afaD								1			1		2				
	<i>Escherichia coli</i> astA, aggR (+)														1			1
	<i>Staphylococcus saprophyticus</i>					1								1				
	<i>Staphylococcus simulans</i>					1								1				
	計	2	2	7	12	17	4	8	5	7	4	4	9	81	4	9	9	22
総計		58	61	41	40	50	34	93	40	75	70	50	58	670	49	48	28	125